

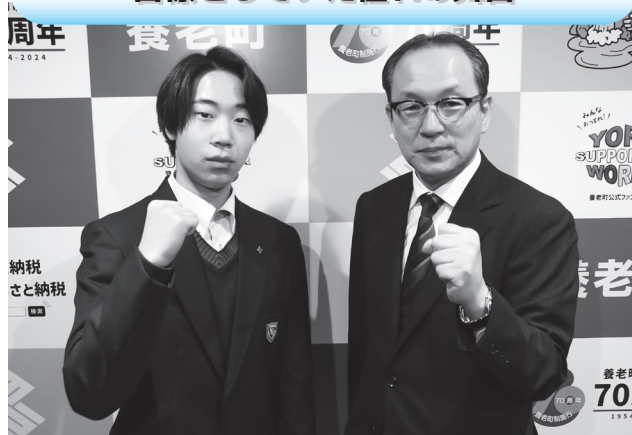
感謝を忘れず、リベンジ果たす



東京都で開催された第47回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季大会での3位入賞と、岡山県で開催される第17回全日本ユース(U16)水球競技選手権大会―桃太郎カップ―への出場を報告するために、野村倫太郎選手と大橋龍生選手が12月9日(月)に川地憲元町長を訪問しました。

野村選手は「周りの人たちに支えられて、JOCジュニアオリンピックカップでは3位入賞することができました。全日本ユースでは、得点王になって優勝したいです」と目標を語り、大橋選手は「全日本ユースでは年上とも対戦することになりますが、引けを取らないように思い切りプレーし、昨年の優勝チームにリベンジを果たして優勝したいです」と意気込みを話しました。

目標としていた憧れの舞台



東京都で開催される春の高校バレー 第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会へ出場する西川逞真選手(大垣日本大学高等学校)が12月25日(水)に川地憲元町長を訪問しました。

川地町長は「1年生ながらレギュラーとして出場されることは大変立派なことだと思います。バレーボールにおいて春高バレーは、野球という甲子園のような憧れの舞台だと思います。万全の状態で挑めるよう、大会に備えてください」と大会出場をたたえ、西川選手は「目標としてきた春高バレーなので、応援してくれているチームメイトの分まで精一杯プレーしたいです。チームメイトは先輩ばかりですが、リベロとしてしっかりと指示を出して、やるべきことをやりたいと思います」と大会への思いを語りました。

チームのためにできること



県予選大会で優勝し、第5回全国U15バスケットボール選手権大会へ出場するBRUINS所属の川地颯舞選手と七里早飛選手、高木理斗選手が12月25日(水)に川地憲元町長を訪問しました。

川地町長が「プレッシャーがかかると思いますが、チームで声を掛け合い、自分の持ち味を活かしていいプレーをしてください」とエールを送ると、選手たちは「スタメンとして出場することができたので、自覚と誇りを持って大会に臨みたいです」「出場する機会が与えられた際には、チームのために自分ができることをしっかりとこなしたいです」「初めての全国大会出場ですが、自信を持って堂々とプレーしたいです」とそれぞれに抱負を語りました。

先輩に続け！目指せ2連覇



栃木県で開催されるJFA第30回全日本U-15フットサル選手権大会へ出場する川地蓮太郎選手が12月16日(月)に川地憲元町長を訪問しました。

川地町長が「養老町から様々なスポーツにおいて活躍している選手がどんどん輩出され、とても喜ばしく思います。前回大会では見事優勝され、2連覇がかかった大会だと聞いています。全国優勝2連覇を目指して、日頃の練習の成果を発揮し、活躍されることを期待しています」と激励すると、川地選手は「2連覇がかかっているので、先輩に続いて優勝できるよう全力でプレーしたいです。また、中学生での最後の大会となるので、悔いのない大会にしたいです」と意気込みを話しました。